

平成23年度 第2回 倉吉未来中心利用者懇談会 概要

開催日時：平成24年2月1日（水）

【現委員数】13名

今回出席委員：9名

※オブザーバー他関係者：2名

委員の皆様への事前アンケートより頂戴したご意見・ご質問を基に、意見交換しました。

設問1 新たなサービス・設備の導入について

委員からのご意見

① インターネットによる予約システムの導入

(回答)「とっとり施設予約サービス」を利用したインターネットによる施設の予約受付は、空き状況の照会のみとなっております。前後の利用状況や各施設共有備品の調整等の問題があり、ネット予約は行っておりませんのでご承知ください。

② 演奏、絵画などを発表する側ではなく、観客側向けの簡単な教室があったらうれしい。(敷居が高いイメージがあるコンサートなどについて、きっかけとして。)

(回答)財団主催事業では、コンサートでの鑑賞マナーについてのご案内を配布しており、マナー向上に努めております。今後、一般向けの鑑賞マナー教室等の開催も検討してまいります。

③ 大ホールでのロスコのパワーがあるものがほしい。レーザーがあるといい。

(回答)ホール備品として整備されている機材は、舞台におけるパフォーマンスを構成する上で、基本的な部分を構成する機材を中心に整備されています。特殊効果用の機材等は用途も限られており、ホールに常備するよりは専門業者等から、レンタル使用の方が効率的であると考えます。

→(委員)倉吉未来中心のロスコ(スモークマシーン)は小ホールのような広さのホールには良いが、大ホールでは煙が天井に上がってしまい、効果が出ない。レンタル料も高く、会館に備品としてあれば他の利用者も使うのではないかな。

(会館)使用頻度の問題もあり、他にも整備を急ぐ備品がある。現在、CDレコーダーやプロジェクターなど利用者から要望の多いものを優先して整備しています。

(委員)以前、民間業者へ聞いてみたこともあるが高かった。他にレンタルできるところを教えてください。

(会館)民間で借りられる物を会館で全て整備すると、民業圧迫という懸念もあるので、慎重に検討したいと思います。レンタル業者はご紹介します。

④ 財団主催イベントに使用した装飾物の払い下げ制度、又は保管していただいて使用できるようにしてほしい。

(回答)財団主催の創造事業等で製作を行った舞台美術及び小道具・衣裳等については、現在企画制作部内で、どのような対応ができるか検討しているところです。

⑤ 公演終了後の15～17時台のバスの本数を増やしてほしい。(未来中心内バス停)

(回答)路線バスの増便や、夜間の公演終了後の運行等を行政機関(倉吉市)へ要望しているところです。

⑥ 2Fから降りる時、視覚、不自由な人は段差がわかりにくい。段のふちに目立つ色でふち取り(?)がしてあるとわかりやすくなると思います。

(回答)2階から1階の階段の段差については、すでに滑り止め(黄色)を施工済みですが、これ以外の場所のことか、または、現在の状況が見えにくい等ということなのか、詳細をお知らせください。

⑦ 展示スペースがあつたらいいと思う。※飲食店のスペースが空いた状態になっているので、そこを活用しては。

(回答)飲食店のスペース(レストラン)については、前回の利用者懇談会の時もたくさんのご意見を頂きました。その後の状況を県に伺いましたが「まだ使用方法等について検討中です。」との回答です。このようなご意見があることは、再度県にお伝えしたいと思います。

→(鳥取県)レストラン営業者を公募したが応募がなかった。レストラン以外の利用方法を検討していたが、現在は仕切直しの状態。展示スペースとしての活用も念頭に置いているが、レストラン機能としての構造や、1階と2階部分がつながっており、子供の転落等が心配である。

(委員)弁当を食べる場所がなく、現在はアトリウムの2階観覧席を利用しているが、そのような場所としてはどうか。

(鳥取県)引き続き検討していく。

⑧ チケットの先行予約について、電話予約になってますが、混みあってなかなかつながりません。そういうものなのでしょうか。(仕方ないとあきらめています。)なにか他にいい方法はないのでしょうか？

(回答)友の会会員様への先行予約につきましては、ご迷惑をおかけしております。現在の回線は1回線に対応しており、現状の友の会会員数と、実際の公演ごとに先行予約をされる人数を考えると、妥当であると判断しております。今後更に解消できる方法を検討してまいります。

⑨ トイレの便座があつたかいとありがたい。

(回答)トイレの便座についてですが、現在洋式トイレ数は、57箇所です。(梨記念館は除く)

あくまでも経費的な問題もありますので、どのくらいの財源が必要なのか見積り等を参考に検討したいと思います。現在、まずはトイレの衛生面が最重要であると考え、便座クリーナー、ジェットタオル等の導入等を検討しているところです。

⑩ いつも言っているのですが、リハーサル室の鏡の間の柱にも鏡があるとより利用しやすい。

(回答)設置者である県と相談しながら検討してまいります。

→(委員)一部の利用者からの意見なのか。柱の部分だけの鏡の取り付けはさほど料金がかからないのではないのか。練習室にも鏡があるととても便利である。

(会館)ダンス目的の利用者からのご意見であり、一度見積りをとり検討してまいります。

2 施設の利用促進に向けた対策(営業・広報等含む)について

委員からのご意見

① 1回、1市4町の文化芸能イベントをしてはと思います。

(回答)倉吉未来中心において毎年開催される、とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)の中部地区事業として、企画提案をされてみてはいかがでしょうか。

②御礼ハガキは無くても良いように思います。昔人間なので、切手代もバカにならないだろうな～と思ってしまっています。

(回答)御礼ハガキは、予約申込期間等をご案内し次回の予約を促しています。頻繁に利用している利用者と、そうでない利用者とのPR方法も今後検討します。

③PR費(チラシ、ポスター制作費)の助成制度があると、集客も含め利用企画がすすむのでは。

(回答)現在、財団が行っている助成としては、『クラシックアーティスト・オーディション』の受賞者を対象としたもののみであり、一般文化活動者への助成事業は行っておりません。民間団体や県の助成制度もごさいますので、ご検討ください。

→(委 員)県や民間の助成制度はレベルが高すぎたり、ハードルが高い。倉吉未来中心の小ホール規模で自主企画ができやすくなるように、チラシの印刷代など助成できないか。

(委 員)市の印刷機は低料金で利用できるようである。よりん彩の印刷機も利用できるようなので利用してみてはどうか。

(鳥 取 県)会館として業者と提携し、低料金で印刷することはできないか。

(会 館)公の施設としては、1者だけと提携することは好ましくないと考えております。

④教育委員会、学校教育との連携をすすめる。

(回答)現在、『とっつりの芸術宅配便事業』や『演劇等による創造のまち事業』等、さまざまな事業で教育委員会や学校現場との連携をしております。今後もより一層の連携が行えるよう、検討してまいります。

⑤民間文化団体連絡協というか、利用団体連絡会等のサポーターをつくる。種別があってもよいのかな。

(回答)詳細をお聞かせください。

→(委 員)もっと利用者のネットワークを強化していかなければならない。倉吉未来中心の役割は、幼児から高齢者まで観る側もやる側も含め文化の拠点となることが使命では。

(会 館)早急な構築は難しいが、今後このようなネットワークの必要性は感じております。

⑥イベント案内なども、アルテ、市報、ホームページ、公民館だより等、なるべく多くの手法で広報して下さい。

(回答)イベント情報は、財団情報誌アルテ以外にも、倉吉未来中心イベントカレンダー、ホームページへ掲載しており、倉吉市報、ラズダ(山陰情報誌)へも情報提供しております。また、アルテは、公民館、マスコミ関係、集客施設等、県内の幅広い箇所へ配布しておりますが、他の広報手段等も今後検討してまいります。

⑦御礼ハガキについて、いつも利用している団体(倉吉未来中心が主会場)には必要ないのではないかと少し的をしぼって(初めての利用者)、手書きにするとか、改善点などを往復ハガキで出した方が効果がありそうですが。

(回答)御礼ハガキは、予約申込期間等をご案内し次回の予約を促しています。頻繁に利用している利用者と、そうでない利用者とのPR方法も今後検討します。往復ハガキによる改善点の返信は、現在行っている利用後のアンケートを活用していきたいと思っております。

3 倉吉未来中心が実施する事業(倉吉未来中心地域活性化事業)について

委員からのご意見

①“倉吉未来中心の”オケや合唱を結成してみる。合唱は「みらい」があると思っておりますので、その活動をもっと活性化できたら良いですね。(年代別に構成し、とりアート参加や第九合唱団の母体になるよう定期的な活動を展開するなど。)

(回答)財団でオーケストラや合唱団などの文化活動団体をかかえるという案は以前内部で上がっていましたが、大規模な事業となることと、文化活動団体の皆さまとも多くの協議を重ねる必要もありますので、実現に至っていないところです。合唱団MIRAIに関しては、とりアートの中で活動を継続し行っていくことに、委員会・保護者会をとおして合意が取れましたので、今後とも活動を継続し、地域に根付く合唱団として多くの公演に参加し、最終的には自立できるよう願っております。

→(委員)小学校でも歌を歌うことが好きな児童が多く、MIRAI合唱団を切り口に、地域に根付いていけばよい。

②アトリウムで行われるコンサートなどは、普段チケットを買って入場しないジャンルの音楽が聞けたり、ちょっと立ち寄ってみたら音楽を聞いた、など個人の芸術の幅が広がる取り組みでとても良いと思う。

③・中部地区子ども太鼓のつどいの開催をしてほしい。

発表の場の提供、予算措置。

・中部地区幼児音体フェスティバル

中部地区の希望保育所の子ども達によるチャリティー遊戯発表会

・小学校・中学校 ソーラン大会

各小学校にある団体演舞の共演

(回答)財団主催事業は、県内全域を対象としているため、中部地区に限定された事業は、倉吉未来中心において毎年開催される、とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)の中部地区事業として、企画提案をされてみてはいかがでしょうか。また、倉吉未来中心地域活性化事業では、中部地区の園児・児童・生徒によるコンサート等も今後検討する予定にしております。

④みらい音楽堂の中で、子供たちが出演するコンサート。ピアノリレーコンサート、弦楽器、管楽器のコンサート、合唱など。

(回答)みらい音楽堂は、今後も様々なジャンルの公演を企画していく予定です。

4 その他

委員からのご意見

①アトリウム内の窓近くの円卓など、学生さんの勉強場所になっているのが気になります。(以前に比べて少なくなりましたが。)ちょっと一息つきたいお年寄などに使わせてあげられたらと思います。

(回答)テーブルには長時間の利用はご遠慮いただくよう注意書を貼っておりますが、状況を見ながら職員・警備員による注意を引き続き行います。

②最近県内の大ホールレベルの会場でオペラを見ていないので、オペラを見てみたいです。また、とりアートのメイン事業が同じような題材に偏っている気がするので、違ったものが見てみたいです。(県にゆかりのある人を登用するのは良いと思います。)

(回答)とりアートメイン事業は、来年度より『とりアート構想』に基づきメイン事業の考え方や実施方法が大きく変わり、多くの県民の意見を反映させた企画に変わると考えられます。また、メイン事業の内容については、県民公募による委員による部会により企画されることとなりますので、ご意見はとりアート実行委員会を通してお伝えいたします。

③事務所、インフォメーション(会場案内だけでなく、交通へのアクセス案内)の場所を解りやすくして欲しい。外国語案内も充実した方が良い。

(回答)案内図の作成や案内表示の工夫などを行っているところですが、再度、館全体の表示を見直してまいります。外国語案内の充実は、関係機関と相談しながら検討してまいります。

④ 民間団体が主催するホールイベントへのPR費(チラシ・ポスター制作費)の助成制度がほしい。

(回答)2の③と同じ

⑤ 利用時間区分がもう少し細かい方がよいのでは。区分が大きいので使わない時間まで予約することになる。

(回答)全国的にもホールの利用時間区分は、午前・午後・夜間・全日の区分貸しの会館が多く、当館でも近隣施設を参考にして料金区分を決定しております。リハーサル室・練習室も同様に区分ごととしておりますが、多くの方が利用しやすくなるよう検討してまいります。

⑥ リハーサルのための(本番前の)予約について、使用しない区分の料金の減免があればとても助かります。

(回答)リハーサル・練習での利用の場合は、既に減免しておりますが、実際利用しない区分の減免については、今後検討してまいります。

⑦ 様々なイベント開催や、賑わい創出の工夫もされており、近年、とてもがんばっておられるように思います。みらい音楽堂のような地元の文化活動者発表の場であるアトリウムコンサートや、いろいろな作品展、今後どうぞ継続して行っていただきたいと思ひます。

⑧ プロのオーケストラ、吹奏楽、ミュージカル、オペラ、演劇の公演をもっと増やしてほしい。できるだけ低料金で。又、小、中、高校生向けの大ホールでの音楽鑑賞教室も学校がらみで、是非行っていただきたいです。

(回答)財団の事業は、県民提案によるものを基本としています。県民の皆さまが各々で観たいと思われても企画提案がなければ、企画の検討の場には上がることがございませんので、是非企画募集時にご提案ください。企画提案については、毎年6月から7月末頃に、県内公共施設や財団ホームページで公開しておりますので、ご確認ください。

料金については、地域性等を十分考慮し、質の高い公演を手ごろな料金で鑑賞していただけるよう試行錯誤しております。

学校公演につきましては、とつとりの芸術宅配便事業や、本年度、県より移管された芸術鑑賞教室事業を実施しています。とつとり芸術宅配便事業では、本年度で延70,000人の生徒にご鑑賞や芸術体験をしていただきました。今後も学校との一層の連携を検討してまいります。

⑨ 県中部の中核施設として、倉吉を中心とするだけでなく他町との連携をもう少し深めた事業展開を。

(回答)倉吉未来中心は、「人と人との交流拠点」として様々な事業展開をしております。しかし、財団の使命として、県内全域の文化芸術振興を図るためにも、他の施設を利用した事業も今後検討してまいります。

⑩ 幅広い年齢層を取り込んだ、とりアート事業をしてみたい。

(回答)ご意見は、とりアート実行委員会及び中部地区運営委員会へお伝えいたします。

6 その他の意見 →は倉吉未来中心からの回答

- (委員) 年間の減免件数はどのくらいか。
→22年度の全ての減免件数は820件であり、減免金額は約900万円です。減免が増えればその分利用料収入が減ってしまいます。
- (委員) 委員になる前は外部からの立場で不平不満はなかったが、委員になり運営が大変であることがわかった。
- (委員) アトリウムの丸テーブルは現在の位置でないといけないのか。アトリウムの利用がなければ、もっと広げてもいいのでは。
→“ゆとりうむ”にも休憩用テーブルを設置し、隣の喫茶店から飲み物を注文し、くつろいでおられます。
- (委員) “パイプオルガンの会”は倉吉未来中心のパイプオルガン講習会受講生より発足した。現在パイプオルガンがインテリアのようになっており、利用を増やす企画をしてほしい。
→講習会を止めてから2年間、パイプオルガン演奏体験を実施したが、検討の余地があり来年度は見直しを考えており、ワークショップや親子で楽しめるコンサートなどを企画する予定にしております。
- (委員) マメ梨は四季感がありとても良い。
- (委員) “倉吉未来中心”の名称はとてもいい名前なので変えないでほしい。
→現在、ネーミングライツ導入の予定はありません。
- (委員) 県全体で文化を語るのではなく、中部版の財団を設置してほしい。
- (委員) 利用者が参加者へ案内状を出す際、会場が1階・2階であることが判断できる表記があると迷う人が少なくなる。
→工夫できないか検討してまいります。